

# もう7回目、辞めると いうまで続く面談

## リストラの相談や意見のごく一部ですが紹介します

先日、「IBMについて」という、海の向こうの親会社か、何を考えているかを知る社内研修がありました。APでの経験のある人事担当の講師が話した内容は背筋の凍るような冷たいものでした。いかにJapanの社員がIndiaなどの国と比べコストがかかっているか、Global Resourceの必要性が強調され、Japan IOTができた本当の理由を、初めて公式に(?)会社から聞きました。

経営者にとって社員は人間でなく、数字でしかなく、明白に示されました。さらに驚いたことは、話の中に、「社会的責任」と「社員への思いやり」というIBM伝統の視点が、全く欠けていたことです。いかに景気悪化といえ、これらを会社が全く考慮していないとすると、今後世界の一流企業として存在できるでしょうか?

M事業部長とW理事に別室に呼ばれ、2対1でやられました。私が何を言っても「それはあなたの主観的感情に基づかない。我々は会社の客観的評価に基づいて、会社を代表して、あなたにIBM以外の道を考えてはどうかと勧められているだけで、決して退職を強要してはいない。」と言い、話にならないので、「これ以上お話しすることはありません。」と言って席を蹴って部屋をでました。

この先のような嫌がらせ、例えば報

復人事で別部門に異動させられる、などを考えると、一人では太刀打ちできないと思います。

家内に坪田人事の発表を見せたら「こんな私も納得できない!何でこんなにも必死に仕事しているのに。」家族の支えがあつて出来てきたことなのにまるで会社に貢献していないような表現は対象社員、及びその家族への冒瀆です。せめて会社が若く若い人を犠牲に出来ないと言われれば仕方ないかと思いましたがこれで心は決まりました。徹底抗戦します。

もう上司との面談は7回になっています。上司には今回のリストラには、NOと言っているのですが、なかなか面談をやめようとはしません。どうしても私を辞めさせたいようです。今現在、上司が言っていることは、このリストラに応じなければ、

今年のPBCは4(去年は2)と配置転換だと言っています。またしつこく、RIGHT M ANAGEMENTに業務命令で見学に行くようにと、言っています。行かなければ業務命令違反になるのでしょうか?

組合HPに紹介されているような退職強要を受けております。所属長は、会社からの命令でやらざるを得ない、と前置きをしたうえで、PBC4をほのめかすメールを送ってきております。

PBC4がつくような業績ではない中で、職権乱用ともとれる内容に、一人では戦えないと判断しました。

毎日退職プログラムの強引な面談をされている様で誰にも相談出来ずに力を失われている人がいます。もう限界だと思われまます。

知らない人ですが見ていられないので投書しました。卑劣なセカンドライオンに天罰を・・・なんとかできないものでしょうか?

2003年の合併以来、IBMの一人として働いてきましたが、近年のおよそ達成できる人間はほとんどいない無茶なノルマ、それを半年間で査定する無謀な体制にすっかり嫌気がさし、早期退職制度に応募しました。

